

新規・重点事業はじまる

切れ目のない包括的な子育て環境づくり

議会で主張してきた子育て支援策のひとつである安心して妊娠・出産・子育てができる「子育てに優しいまち」の実現に向けて、「とうかい版ネウボラ」がスタートします。ワンストップ拠点となる「子育て世代包括支援センター」を設置し、「母子保健コーディネーター」、各中学校区を担当する「マイ保健師」を配置します。お母さん一人ひとりと丁寧に関わることで、より一層の切れ目のない支援に取り組んでいきます。



親子のふれあいを大切に

- ・とうかい版*ネウボラ
- ・産後ママあんしんケア
- ・病児・病後児施設整備

※ネウボラとは、フィンランドにおける、子どもとその家族を支援する公的施設のこと。



地域農業の在り方について支援

高齢化の進行により、農業の担い手が不足し耕作していない農地が増加している。意欲ある生産者の経営強化や多様な担い手の確保・育成等を促進するため、国が実施する支援制度の活用とともに、集落・地域等での話し合いを持ち、地域ごとの問題点を洗い出し、対策を考えていく独自の事業を実施しています。農業問題は環境の視点からも大切な問題であり、議会としても取り組みを注視していきます。



生産者の生の声に耳を傾ける

- ・「人・農地プラン」の策定と産地体制強化
- ・地産地消の拡大
- ・農道や水路等の適切な維持管理